

特定非営利活動法人 日韓アジア基金・日本
平成 30 年度(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)事業報告書

平成 30 年度目標

- 1 カンボジアに於ける活動地域周辺の小学校の教育レベル向上支援
- 2 日韓交流事業の推進
- 3 広報宣伝活動

実施内容

1 カンボジアに於ける活動地域周辺の小学校の教育レベル向上支援

1-1 カンボジアに於ける活動地域周辺の小学校の不足教科書補充支援

支援数量

支援学校は 10 校、対象生徒数 4,518 人、支援教科書数は 1,691 冊となり、対象生徒数、冊数は共に増加しました。このため、購入金額は総額で 2,958 ドル(113.77 円/ドル換算で 33 万 7 千円弱)と昨年比約 400 ドルの増加となりました。

なお、支援する科目はクメール語のみは変わらずです。

支給遅れの防止

先期に引き続き 6 月頃から各学校の校長先生に必要な数検討を開始して頂き、9 月には必要数を確定しました。この結果、11 月の新学期の初めから対象生徒全員に教科書を支給することが出来ました。

1-2 非正規識字学校支援

Prekchrey 小学校 (No.9 校) の校区内、小学校から 3 k m 離れた所にある識字学校の支援 (教員給与と家賃支援) は今期も順調に推移しております。なお、教員給与については引き上げを実施致しました。

また、5 月には当会スタッフが 2 日間に亘り現地視察を行いました (自費)。現地の実態についてヒヤリングや写真、動画を通じて取材し、帰国後報告会を開催しました。

今後も実態調査を継続し、支援をしながら最適な支援とは何かについて引き続き検討して行きたいと思っております。

2 日韓交流事業の推進

ビビンの会

当期は、6 月のみの 1 回開催に止まりましたが、参加スタッフの集客努力のいかにもあって大いに盛り上がりました。また余興で韓国のすごろくゲームも好評でした。

なお、ビビンの会の外での有志の集まりは、今年度も花見に花火大会、バーベキュー等が開催され、国籍を超えて親睦を深めております。

3 広報・宣伝活動

当期の実績は下記の通りです。

3-1 外部イベントへのブース出展

- ・ グローバルフェスタジャパン 2018
- ・ ABK フェスタ 2018

3-2 主催イベント

- ・ ビビンの会(年 1 回)
- ・ ニュースレター発行・発送作業(年 3 回)

いずれのイベントも、インターネットと電子メールでボランティアの募集を行い、延べ約 150 人の参加を得、この中からスタッフになって下さる方、リピーターになって下さる方も出ております。

イベントでのボランティア募集はマンパワー補充が主目的ですが、合わせて狙っているのは、参加者に「ボランティアって楽しい、またやろう」と思ってもらえることです。

当会は年間予算 60 万円前後の小さな団体ではありますが、ボランティアを募集するからには社会に対しその責任があると考え種々工夫を凝らしております。

3-3 クラウドファンディングによる寄付、広報活動

7 月中旬から 8 月末にかけての 1 ヶ月半の間、クラウドファンディング業界大手の Readyfor を通じ、当会の教科書支援プロジェクトのための寄付及び広報活動を実施しました。目標金額 50 万円に対し、57 万 5 千円の寄付があり成功裡に終わることができました。

12 月に一昨年にご逝去された大澤さんを偲ぶ会を大澤さんの奥様をお招きし開催しました。当日は大澤さんにゆかりのあった方々が総勢 50 名ほどおいでになり故人を偲びました。当会からは江本代表をはじめ各理事、創始者ウ・スグンさん、多くのスタッフが出席しました。

以上